

東北植物学会第 11 回大会 (福島・対面+オンライン大会) プログラム

【会場】 福島大学共通講義棟 L2 教室 (口頭発表・総会・シンポジウム)
オンライン (ポスター発表)

【日程】

12月11日(土)	[10:30]	受付開始・会場開場
	[13:00~14:15]	一般講演(口頭発表)
	[14:15~15:30]	一般講演(オンラインポスター発表)
	[15:30~18:00]	一般講演(口頭発表)
12月12日(日)	[8:30]	受付開始・会場開場
	[9:00~9:30]	一般講演(口頭発表)
	[9:30~10:30]	一般講演(オンラインポスター発表)
	[10:30~12:30]	シンポジウム
	[12:30~14:00]	総会, 学会功績賞と奨励賞の表彰 優秀発表賞の選出と表彰

会場では新型コロナウイルス感染防止にご協力下さい

(大会開催時の状況に応じて変更されることがあります)

- ・熱のあるときや体調の悪いときには, 参加をご遠慮下さい。発表者が欠席した際は, 要旨集の発行をもって発表が行われたこととして扱われます。
- ・建物内ではマスクの着用をお願いします。
- ・入場時の体温計測にご協力をお願いします。
- ・入口にアルコール消毒液を設置しますので, 適宜使用して下さい。
- ・会場の窓やドアは基本的に一部開放します。防寒具をご用意下さい。
- ・昼食時に大人数で集まらないようお願いいたします。

口頭発表時間割およびポスター発表一覧

12月11日(土) 口頭発表 13:00~14:15 (5題)

【座長 彦坂幸毅】

13:00	1p01 ☆ エゾエンゴサク(ケシ科)における北海道及び東北地方集団間の遺伝的差異の解析 黒田大生1・鈴木政紀2・横山潤1(1山形大・理・生物, 2東北大・院・農)
13:15	1p02 ☆ ハギ属メドハギ類から得られた根粒内バクテリア: <i>Bradyrhizobium</i> 属2グループの存在比の種間比較 藤田マリン*1・星山美樹1・横山潤2(1山形大・院・理工, 2山形大・理)

【座長 日渡祐二】

13:30	1p03 ☆ 低温誘導性カルシウムシグナルとカルシウムチャネル MCA の関与 加藤 旦*1・上村松生2・河村幸男2(1岩手大・院・総合科学・農, 2岩手大・農・植物生命)
13:45	1p04 ☆ 低温馴化が小胞体およびアクチンフィラメントに及ぼす影響 田村海妃*・上村松生・河村幸男(岩手大・農・植物)
14:00	1p05 ☆ フィトクロムを介した日長および温度による低温誘導性遺伝子の発現制御とその解析 笠松勇登*・上村松生・河村幸男(岩手大・農・植物)
14:15	1p06 ☆ 光を介した低温馴化プロセスにおけるクリプトクロムの役割 下平基*・高橋亜未・上村松生・河村幸男(岩手大・農・植物)

12月11日(土) オンラインポスター発表(1回目) 14:30~15:45 (15題)

14:30~ 希望者によるポスターフラッシュ

P-01

岩手県で採集した正体不明なタチツボスミレ類(スミレ科)雑種の花粉稔性と形態の類似性にもとづく再検討
武田真一(岩手県盛岡市)

P-02

寄生植物アメリカネナシカズラの吸器形成と寄生機能の分子機構の解明
横山隆亮*1・横山俊哉2・西谷和彦2(1東北大・院・生命科学, 2神奈川大・理・生物)

P-03

ヒメツリガネゴケ重力屈性変異体 *gtr* の表現型解析と原因遺伝子探索
中村恵太*1・岩井香澄1・平山桃菜1・日渡祐二1,2(1宮城大・食産業, 2宮城大院・食産業)

P-04

シアノバクテリア可溶性 PPase 酵素特性解析
成田碧希*1・佐藤翔優1・Ferjani Ali2・大河浩1(1弘前大・農学生命・生物, 2東京学芸大・教育・生命)

P-05

イネ遺伝子の導入によるシアノバクテリア多糖代謝改変の試み
鈴木英治*・吉村仁・長田尚之・石井湧人・鈴木龍一郎(秋田県大・生物資源)

P-06

常緑広葉樹ヤブツバキ群落で観察する群落表面と群落内の光化学反射指数(PRI)のばらつき
上妻馨梨*・彦坂幸毅(東北大・生命)

P-07

温帯性イネ科植物ミナトカモジグサにおける低温ストレスに対する *SnRK2.2* の機能解析
中村愉太*1・高内滯奈1・後藤未羽2・日渡祐二1,2(1宮城大・食産業, 2宮城大院・食産業)

P-08☆

ヒメツリガネゴケ重力屈性変異体 *gtr* の表現型解析と原因遺伝子探索

小針寛乃^{1*}・遠ローレンスかおる²・豊田敦³・平川英樹⁴・日渡祐二^{1,2} (1 宮城大・食産業, 2 宮城大・院・食産業, 3 遺伝研, 4 かずさ DNA 研)

P-09

山形県内に自生するハギ属植物の訪花昆虫相とその種間比較

五畿田裕大・横山潤 (山形大学・理・理)

P-10☆

植物細胞における分裂方向の制御に関わる因子の探索

千葉俊太^{1*}・田安智明¹・細井俊良¹・飯田智子¹・橋場真子¹・鈴木伶奈¹・渡邊悦子²・上村松生²・笹部美知子¹ (1 弘前大・農生、⁴岩手大・院・農)

P-11☆

葉の運命決定に関する ASYMMETRIC LEAVES2 タンパク質の動態解析と相互作用因子の探索

鈴木景子^{1*}・岩山慎太郎¹・小島晶子²・岩川秀和²・安藤沙友里²・町田千代子²・町田泰則³・笹部美知子¹ (1 弘前大・農生, 2 中部大・応用生物, 3 名大院・理・生命理学)

P-12☆

シロイヌナズナの細胞分裂を制御する ATK1 の機能解析

山地良樹^{1*}・三上裕大¹・富田昌伸¹・宮武亮悟¹・濱田隆宏²・中神弘史³・橋本隆⁴・町田泰則⁵・笹部美知子¹ (1 弘前大・農生・生物, 2 岡山理科大学・理, 3 Max Planck Institute for Plant Breeding Research, 4 奈良先端大・バイオ, 5 名大院・理・生命)

P-13☆

***Synechocystis* sp. PCC6803 PPase 変異株の明暗期下における グルコース利用特性**

後藤太政^{1*}・片野創太¹・成田碧希¹・Ferjani Ali²・大河浩¹ (1 弘前大・農学生命, 2 東京学芸大・教育・生命)

P-14☆

衛星リモートセンシング時系列データからみた日本のブナ林の晩霜害頻度の変化

青野葉介¹・野田響²・彦坂幸毅¹ (1 東北大・院・生命科学, 2 国環研)

P-15☆

コナギ (ミズアオイ科) の訪花昆虫の体表面に付着する微生物相の解析

館林融¹・藤田マリン²・横山潤¹ (1 山形大・理, 2 山形大・院・理工)

P-16

奥州白川南湖真景に描かれた福島県白河市南湖の 1816 年当時の生物多様性と土地利用

黒沢高秀 (福島大・共生システム理工学類)

12月11日(土) 口頭発表 15:45~18:00 (9題)

【座長 河村幸男】

15:45	<p>1p07☆ Actin isovariant ACT7 affects Arabidopsis root meristem development through modulating auxin and ethylene responses 杉田健史*1・沼田剛宏 2・Arifa Ahamed Rahman1・Abidur Rahman1,2,3 (1岩手連大・生物資源, 2岩手大院・総合科学・植物, 3岩手大・AIC)</p>
16:00	<p>1p08☆ ATP Binding Cassette Protein ABCG36 is not a Cadmium Transporter 千田夏海*1・飯野雄飛 2・Abidur Rahman1,2,3(1岩手大院・総合科学・植物, 岩手大・農・植物, 岩手大・農・AIC)</p>
16:15	<p>1p09☆ チャ由来ゲラニオール配糖化酵素の配列情報を用いたコーヒータルペン類配糖化酵素遺伝子の探索 井田美帆, 佐々木香織, 能代志歩, 水野幸一 (秋田県大・生物資源)</p>
16:30	<p>1p10☆ 微小管形成複合体オーグミンの植物特異的サブユニット AUG8 の遺伝子比較と機能解析 片岡拓海*1・室井大輝 2・日渡祐二 1,2 (1宮城大・院・食産業, 2宮城大・食産業)</p>

【座長 笹部美知子】

16:45	<p>1p11☆ 植物種における CPD 光回復酵素の葉緑体移行性の違いとその移行メカニズム 大竹桃*1・小松千春 1・原遵 1・寺西美佳 1・愿山(岡本)郁 1・日出間純 1 (1東北大・生命科学・分子遺伝生理)</p>
17:00	<p>1p12☆ イネ穂発芽耐性 QTL・Sdr6領域に2つ存在した qSdr6a と qSdr6b の候補遺伝子の同定 佐野舜一*1, 黄浚彦 2, 飯島信繁 1, 杉本和彦 3, 星野友紀 1,2 (1山形大院・農・生物資源, 2山形大学・農・食料生命環境, 3農研機構・次世代作物開研セ)</p>
17:15	<p>1p13☆ MIZ2/GNOM に制御された水分勾配刺激特異的に生じる MIZ1 の細胞内局在変化は水分屈性の初期応答に必須である 渥美友夏*1・瀧田未央 2・宮沢豊 2 (1山形大・院・理工, 2山形大・理)</p>

【座長 横山 潤】

17:30	<p>1p14☆ F2 個体の形質値分布から見るハクサンハタザオ <i>Arabidopsis halleri</i> の標高間変異 吉田直史*1・森長真一 2・若宮健 3・石井悠 1・久保田渉誠 4・彦坂幸毅 1 (1東北大・生命, 2帝京科学大・自然環境, 3広島大・総合生命, 4ファスマック(株))</p>
17:45	<p>1p15 生物の陸上進出における細胞壁再編酵素 XTH の役割 西谷和彦*1・篠原直貴 1・横山隆亮 2(1神奈川大・理・生物, 2東北大・生命)</p>

12月12日(日) 口頭発表 9:00~9:30 (2題)

【座長 宮沢豊】

9:00	<p>2a01 ヒストン修飾および PoIII-CTD 修飾のイメージングと画像解析から時空間的転写ステータスを読み解く 澁田未央*1・松岡恵*2・坂本卓也*2・松永幸大*3 (1 山形大・理, 2 東京大・新領域, 3 東京理科大・理工)</p>
9:15	<p>2a02 光化学系IIの光損傷速度をマンガン依存要素と過剰エネルギー要素に分割して定量化する 彦坂幸毅・李芷瑜・横田鈴香・上妻馨梨・日出間純 (東北大・院・生命科学)</p>

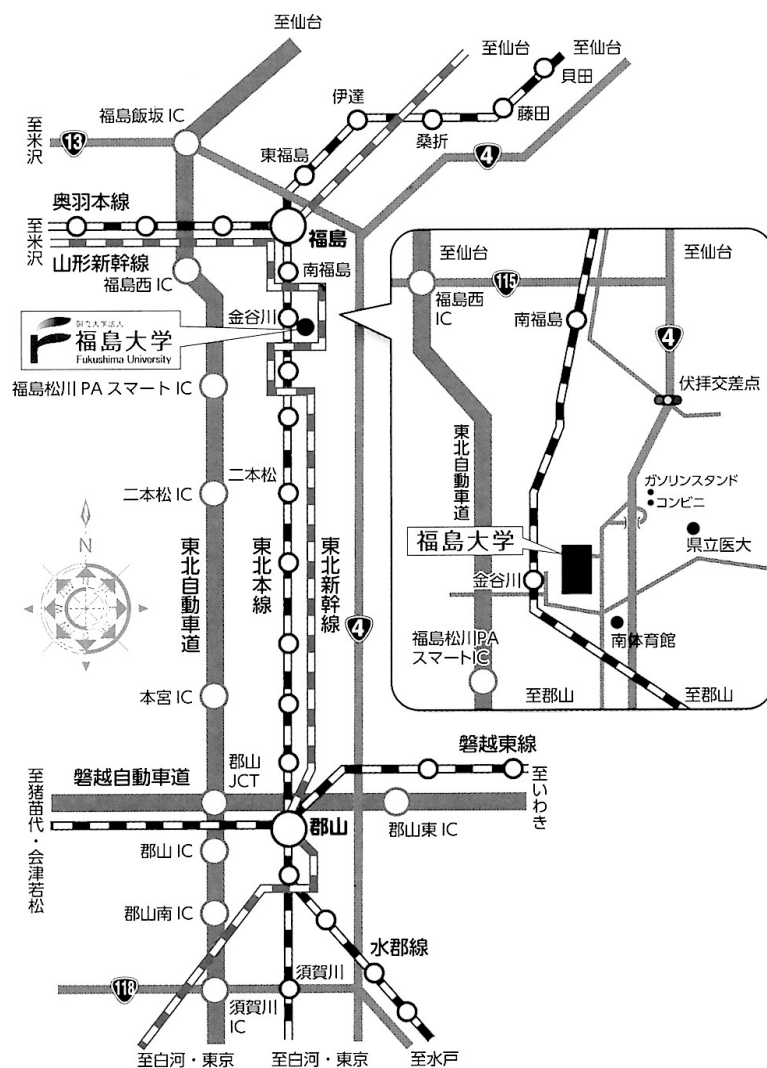
12月12日(日) オンラインポスター発表 (2回目) 9:30~10:30 (15題)

12月12日(日) 公開シンポジウム 10:30~12:30 (5題)

「菌従属栄養植物の植物学 東北発のユニークな研究展開」

10:30	<p>S01 東北地方の菌従属栄養植物 黒沢高秀 1・山下俊之 2 (1 福島大・共生システム理工, 2 奥羽大・薬)</p>
10:40	<p>S02 菌従属栄養植物の進化研究の歴史と今後の展開 横山潤・富松裕 (山形大・理)</p>
11:00	<p>S03 緑色菌従属栄養植物カイサカネランの色素体構造 山下由美*1,2・高木大輔 3・池田健一 4・末次健司 5・黒沢高秀 6・遊川知久 2 (1 福島大・院・共生システム理工, 2 国立科学博物館・筑波実験植物園, 3 摂南大・農, 4 神戸大・院・農, 5 神戸大・理・生物, 6 福島大・共生システム理工)</p>
11:20	<p>S04 イチヤクソウ(ツツジ科)のアルピノの発見とその研究的価値 首藤光太郎*1・田島裕子 2・松林順 3・陀安一郎 4・末次健司 5 (1 北海道大・総合博物館, 2 北海道札幌市, 3 海洋研究開発機構・生物地球化学プログラム, 4 総合地球環境学研究所・研究基盤国際センター, 5 神戸大・理)</p>
11:40	<p>S05 咲かないランの遺伝的多様性 兼子伸吾 1・末次健司 2 (福島大・理工, 神戸大・理)</p>

会場案内：福島大学金谷川キャンパス



アクセス

大会会場の福島大学はJR東北本線金谷川駅（福島駅から2駅東京側）より徒歩10分ほどです。

車での来場も可能です。福島西インターから30分、福島松川PAインター（ETC専用）から15分ほどです。大学への入り口がわかりにくいのでご注意ください。

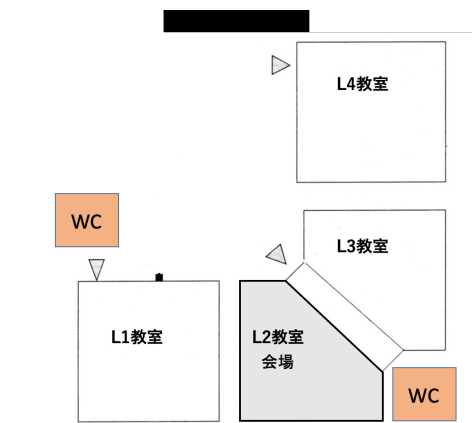
入構時はゲートで駐車券を取り、大会受付で無料化処理を行って下さい。

大会会場 (福島大学金谷川キャンパス 共通講義棟 L 棟)



..... 金谷川駅からのルート

⑫共通講義棟 L 棟



大会に参加される方へ

全般的事項

- (1) 口頭発表，シンポジウム，総会，授賞式については対面で開催いたします。口頭発表とシンポジウムは事前に配信の申込者に対してオンラインで配信をします。
- (2) ポスター発表については，LINC Biz で開催します。

会場での全般的注意

- (1) 大学内は禁煙です。
- (2) 12月11日(土)は周りの講義室で講義や講演が行われています。

会場の web 環境

福島大学キャンパス内で eduroam と大学の無線 LAN が利用できます。大学の無線 LAN は接続可能な数に限りがありますので，eduroam を利用できる方は，そちらを利用して下さい。eduroam 利用許可については，所属大学等の情報処理センター等にお問い合わせ下さい。大学の無線 LAN の利用方法については，事前にお知らせをすると共に，当日に受付でお知らせいたします。

情報セキュリティ

本大会に参加するにあたり，発表画面を録画・撮影しないことを同意いただいております。学会で知り得た未発表の結果を，SNS 等で発信しないでください。また，大会参加に必要な，種々のパスワードや URL を第三者に伝えないでください。

口頭発表（会場）

- (1) 発表時間は，講演と質疑応答をあわせて 15 分です。終了時間の 5 分前に 1 鈴，3 分前に 2 鈴，終了時に 3 鈴を鳴らします。
- (2) 液晶プロジェクターを用いて発表される方は，ノートパソコンを各自ご用意し，操作も発表者自身で行ってください。会場の液晶プロジェクターとパソコンを接続するケーブルのコネクタは，一般的な D-Sub15 ピンまたは HDMI 端子です。お持ちのノートパソコンの映像出力端子が異なる場合は，接続アダプタを自身でご用意ください。
- (3) パソコンによっては映像出力が認識されないことがありますので，口頭発表開始前の会場が使用されていない時間帯，あるいは休憩室のプロジェクターで，動作確認をお願いいたします。

(4) 予想外のトラブルに備えて、発表用のファイルのバックアップを USB メモリー等に入れてお持ちください。

(5) 発表の様子は、オンライン参加者に対して配信されます。

口頭発表（オンライン）

(1) 口頭発表およびシンポジウムの配信を Zoom ミーティングで行います。対象は事前にオンライン配信を申し込んだ人です。ポスタフラッシュの配信はありません。

(2) 配信の事前申込みをした人に URL をお知らせします。所定の時間に接続して Zoom ミーティングで視聴してください。発表への質問等には対応できません。

ポスター発表

<発表者の方へ>

(1) ポスター発表は LINC Biz で行います。操作方法については、要旨集配布前後に別途お送りするマニュアルをご覧ください。

(2) ポスターは縦長 A 版比とし、サムネイル表示可能なように、ファイル形式は JPEG か PNG としてください。画像解像度は 6048×4032 ピクセル以内としてください。動画ファイル (MP4) , 音声ファイル (MP3, M4A) をアップロードすることもできます。

(3) ポスター発表に対する質疑は、各ポスターのチャンネルのチャットで、ポスター掲示後から大会期間中に随時行ってください。ポスター発表の質疑を集中的に行う「ポスター発表」の時間を、大会初日と 2 日目に設けます。2 回とも自分のポスターの質疑に集中する、1 回は他の人のポスターを見る等、発表時間をご自由にお使い下さい。

(4) 希望者による口頭会場でのポスタフラッシュ (1 分程度) を、第一回目のポスター発表開始時に行います。発表はポスター番号順に行います。希望者はプレゼンテーションとノートパソコンをご準備下さい。

<参加者の方へ>

(1) LINC Biz には、申し込み時に登録した所属と氏名で参加してください。所属に関しては略称を用いてください (例: 福島大・金谷川すみれ)

(2) LINC Biz にアクセスした後は、視聴したい発表のチャンネルおよび URL にアクセスしてください。

(3) LINK Biz のダイレクトメッセージ機能で、発表者と個別にやり取りすることも可能です。

パンフレットブース

大会当日はパンフレットを配付する場所を準備する予定です。各研究機関等やご自身の著書等のポスターやパンフレット類で、一般や東北植物学会会員のみなさんにお見せしたいものをお持ち寄り下さい。

優秀発表賞

- (1) 大会を全日程参加される一般会員が投票できます。別途お知らせする google フォームで、本大会で最も優れていると思われる学生の発表を選んでチェックし、投票して下さい。口頭発表の投票は1日目である11日中に、ポスター発表は2日目である12日の10:30（シンポジウム開始時間）までに行ってください。
- (2) 得票数が同数の場合は、学会役員および大会準備委員で協議の上、受賞者を決定します。
- (3) 表彰は総会後に行います。

入会受付・会費受付

一般講演の発表者は支部会に入会する必要があります。まだ入会していない方は、受付の一部に設置される学会事務局のカウンタで入会手続きと年間会費 500 円の納付手続きをお願いします。

大会についての問い合わせ先

〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学共生システム理工学類

東北植物学会第11回大会（福島大会・対面+オンライン大会）準備委員会

TEL 024-548-8201（黒沢高秀） e-mail kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp

本大会に関する案内や最新情報・周辺情報を以下のページで公開していますので、ご利用下さい。

<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~kurosawa/tohoku-shokubutsu2015.12/home.html>